

Corporate Profile

会社案内

カナデビア株式会社

■本社
〒559-8559 大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
tel.06-6569-0001 fax.06-6569-0002

■東京本社
〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目26番3号
大森ヘルポートD館15階
tel.03-6404-0800 fax.03-6404-0809

カナデビアのブランドコンセプト

ブランドコンセプトとは、
カナデビアとして新しい挑戦をし続けていくための指針であり、
果たすべき使命や存在意義、
そして私たちのありたい姿を定義・言語化したものです。

技術の力で、人類と自然の調和に挑む

人類は、これまで、様々な恵みを与えてくれる優しい自然、
時には命すら脅かす厳しい自然と、共に歩んできた。
わたしたちは、培ってきた技術で、人類と自然が調和した社会を実現し、
誰もが幸せを実感できる未来を拓く。
自然の恵みを活かし、その営みを支え、脅威に備えることで、
人々の笑顔を次代につなぐ。

目次

1	カナデビアのブランドコンセプト
3	挑戦と変化の実績
5	カナデビアの歩みと思い
7	エネルギー
9	造水・水処理
11	船用機器
12	プラント機器
13	半導体・FPD関連機器
14	食品・医薬関連機器
15	電子制御機器
16	電気分解・メタネーション・燃料電池
17	社会インフラ・防災設備
19	その他
21	拠点

挑戦と変化の実績

私たちは「技術と誠意で社会に役立つ価値を創造し、豊かな未来に貢献する」という理念と、幕末に英国から来日し多くの事業を興した創業者、エドワード・ハズレット・ハンターの精神を受け継ぎ、企業として担うべき責任と挑むべき未来を見据え、現在に至るまでさまざまな活動を行ってきました。2002年には造船事業を分離し、これから深刻化するであろう地球規模での環境問題に目を向け、現在では主な事業分野を「脱炭素化」・「資源循環」・「安全で豊かな街づくり」としています。挑戦と変化を繰り返してきた実績があるからこそ、今日のカナデビアがあるのです。



カナデビアの歩みと想い

1881年～
1899年

日本を海外と つなげたい。

諸外国との関係が広がっていく中で
海を渡るニーズが伸長。
それに応えるべく次々と日本初の
船舶を製造。

- 1881(明治14)年
創業者E.H.ハンターによって、
大阪鉄工所として大阪安治川岸で創業



- 1882(明治15)年
新造第1船「初丸」(木造14GT)建造

- 1890(明治23)年
日本初の鋼船・大阪商船向け貨客船
「球磨川丸」建造

- 1893(明治26)年
当所初の電灯配線船
「武庫川丸」建造



1900年～
1949年

国内インフラを 整備したい。

造船業を展開する一方で、
巨大な船体を造るための鉄を
切断したり、溶接して精密に
加工したりする技術を活用して、
大正時代から橋梁や水門などの
陸上分野に進出。

- 1900(明治33)年
橋梁事業開始
- 1911(明治44)年
因島工場(当時は因島分工場)操業開始
- 1922(大正11)年
築港工場操業開始
- 1927(昭和2)年
大阪市向けアーチ橋
「堂島大橋」など相次いで完成



- 1934(昭和9)年
株式会社大阪鉄工所として新発足
- 1943(昭和18)年
日立造船株式会社に社名変更
向島工場(当時は向島造船所)操業開始

1950年～
1979年

海外の技術を 日本に広めたい。

技術力の向上を図り
海外企業との技術提携を推進。
製鉄機械分野への参入に続き、
ごみ焼却施設エンジニアリングへの
挑戦が始まる。

- 1950(昭和25)年
B&W型ディーゼルエンジンの技術提携締結



- 1960(昭和35)年
スイスフォンロール社と
ごみ焼却プラントの技術提携
- 1965(昭和40)年
堺工場操業開始
大阪市向けごみ焼却施設完成
(日本初の発電付大型機械式施設)



- 1969(昭和44)年
東京都向け大型ごみ焼却施設相次ぎ完成
- 1971(昭和46)年
舞鶴重工業合併により舞鶴工場発足
- 1973(昭和48)年
有明工場操業開始

1980年～
2000年

技術を世界で役立てたい。

創業以来脈々と受け継がれてきた
ものづくりとエンジニアリング技術によって、
様々な分野に技術革新をもたらす。

- 1981(昭和56)年
創業100周年
- 1987(昭和62)年
世界初のマルチフェイスシールド
掘進機完成
- 1991(平成3)年
茨城工場操業開始
- 1993(平成5)年
日本初のダブルハルタンカー竣工
- 1994(平成6)年
世界初の3連型シールド掘進機完成
- 1996(平成8)年
日本初のスーパーごみ焼却発電プラント稼働
- 1999(平成11)年
世界最新鋭の第5世代セミサブリグ完工
- 2000(平成12)年
世界初の旋回式浮体橋「夢舞大橋」の完成



2001年～

世界の諸問題を解決したい。

中東エリアを中心に海外向け海水淡水化プラントを建設し、
世界の水不足問題の解決に貢献。

- 2001(平成13)年
サウジアラビア向け大型海水淡水化プラント完成
- 2002(平成14)年
造船事業分離
- 2003(平成15)年
オマーン向け海水淡水化プラント完成



- 2006(平成18)年
アブダビ向け海水淡水化プラント完成
- 2007(平成19)年
世界最大級南アフリカ向けCTL用リアクター受注
- 2010(平成22)年
AE&E Inova AG(現Hitachi Zosen Inova)の株式の取得
- 2013(平成25)年
NAC Internationalの株式の取得
- 2017(平成29)年
船用SCRシステム初受注
Osmofloグループの株式の取得
- 2018(平成30)年
国内製造業で初のグリーンボンドを発行
Hitz先端情報技術センター(A.I/TEC)操業開始
- 2020(令和2)年
岩手県向け日本初海底設置型フラップゲート式水門設置工事完工
- 2021(令和3)年
創業140周年
- 2024(令和6)年
商号をカナデビア株式会社へ変更



エネルギー

- ごみ焼却発電プラント
- バイオマスプラント
- 風力発電事業
- 電力小売事業 (PPS)
- 発電プラント
- AOM／運営事業

世界を結ぶ 環境技術のネットワークによって、 地球環境の保全に貢献したい。

私たちカナデビアグループは、24時間、地球のどこかで片時も休むことなく働き続けています。例えば、皆様が使わなくなったり、捨てたりしたものからエネルギーを作って、再び皆様のご家庭に届けるごみ焼却発電。

カナデビアグループのごみ焼却・発電は、世界の国々に約1500施設 (2024年3月現在) のプラント納入実績があります。いつも地球のどこかで、ごみから電気エネルギーを作り続けているのです。私たちは日本で初めてごみ焼却発電施設を建設したリーディングカンパニーとして、更なる高効率化を目指した施設を世界に展開していきます。

Technology / Products



●ごみ焼却発電プラント

廃棄物を燃やして衛生的に処理すると同時に、大切なエネルギー資源として発電する施設です。Kanadevia Inova AG (スイス) と共に、全世界にごみ焼却発電施設を納入しています。

東京二十三区清掃一部事務組合/杉並清掃工場



●風力発電事業

風力を利用した発電に取り組んでおり、秋田県では合計2,000kW×4基の本格的な風力発電が稼働しています。

第2雄物川風力発電所



●バイオマスプラント

生ごみからメタンを発生させ、エネルギーを回収するバイオマスプラント。間伐材などの木質バイオマスから電気を作るバイオマス発電プラントなどの設計から運転・管理までのソリューションをご提案します。

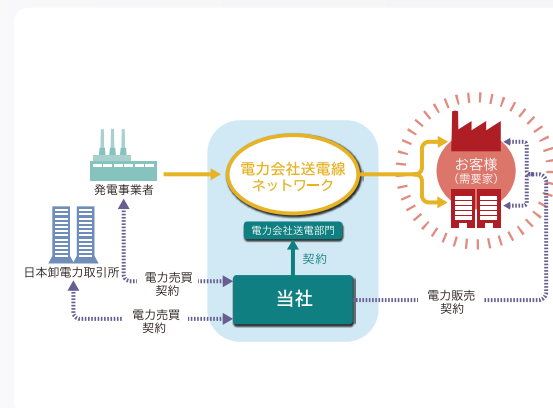
秋田バイオガス発電所



●発電プラント

ガスタービン、ガスエンジン、ディーゼルエンジンなど、電力の需要にあわせて運転・制御が可能な発電設備やコージェネレーションシステムを提供しています。

カナデビア茨城発電所



●電力小売事業 (PPS)

再生可能エネルギーであるごみ焼却発電電力を有効活用することで、低炭素社会の実現に貢献しています。



●AOM (アフターサービス、運転管理、薬剤販売) / 運営事業

焼却施設、リサイクル施設を合わせ140施設以上のアフターサービス業務と50件以上の運転委託業務、30件以上の包括運営委託を請け負っています。

臨海工場中央制御室

ピンウィル (スイス) ごみ焼却発電施設

造水・水処理

- 海水淡水化プラント
- 汚泥再生処理プラント
- 上下水処理プラント
- フィルタープレス
- AQSEV®メンブレンフィルター

造水や浄水を通じて 安全な飲み水の供給に 貢献したい。

現在、世界人口の約6分の1の人が安全な飲み水を確保できない状況にあります。当社は、主に中近東や離島などに、海水淡水化プラントを建設して、海水から飲料水を作ることによって地域社会や人々に貢献しています。また震災・緊急時、繊維ろ過材を用いて水を高速に作り出し、供給しています。



RO式海水淡水化プラント(カタール)

Technology / Products



蒸発法海水淡水化プラント(カタール)

●海水淡水化プラント

1971年に1号機を建設して以来、日本と中近東を中心に世界中で約40件のプラントを納入。海水を効率的に淡水に変えることで、約400万人分の生活用水を供給しています。



●汚泥再生処理プラント

汚泥再生処理のリーディングカンパニーとして、汚泥の性状や処理量、地域特性に応じて、最適な処理システムをご提案しています。衛生的にし尿や浄化槽汚泥などを処理する施設を多数納入しています。

山武郡市広域行政組合/環境アクアプラント



●フィルタープレス

ろ過・洗浄・脱水機能を持つ固液分離装置です。各種産業向けにトップクラスの納入実績を誇っています。



●上下水処理プラント

長年にわたる経験と実績をもとに、上下水処理、産業排水処理分野における数多くの実績を有しています。前処理から高度処理まで、各種装置を豊富に取り揃え、多様なニーズにお応えします。

飯能市浄化センター



●AQSEV®(アクセブ)メンブレンフィルター

配管を極力省略し、構成する機器の省スペース化を実現した膜ろ過装置です。トラック積載可能で、災害時に給水拠点などへ移送し現地での応急浄水に用いることができます。

トラック搭載型AQSEV®(AMF-180SD)のデモ機

船用機器



船用エンジン

世界中の皆様にご満足いただける装置を提供し続けたい。

当社は、陸上プラント用として実績のある排気ガスから窒素酸化物を除去する脱硝技術を応用し、国際海事機関の窒素酸化物排出量第三次規制をクリアする船用エンジン向けSCRシステムを世界で初めて完成させました。

Technology / Products

- 船用エンジン
- 船用SCRシステム
- 船用2ストローク二元燃料機関



● 船用エンジン 日立造船-MAN BLW 65ME-C電子制御エンジン
長きにわたり、MAN Energy Solutions(旧マンディーゼルアンドターボ社)、ウインターツールガスアンドディーゼル社と技術提携。以来、主に大型中型の電子制御エンジンを中心に製造を行っています。完成したエンジンは、試運転で性能と品質を厳しくチェック、500トンクレーンで船積みし、世界各国に出荷します。



● 船用SCRシステム (SCR: Selective Catalytic Reduction)
窒素酸化物規制の要求に応えるため、燃料(高硫黄、低硫黄、LNG)および主機サイズに関わらず対応できる船用SCR(HP/LP)をラインアップしました。



● 船用2ストローク二元燃料機関 (DFエンジン)
船舶の次世代型エンジンとして従来の重油に加え天然ガスを燃料として利用できます。DFエンジンは、従来のディーゼルエンジンを改良することで、天然ガスにも対応できる仕様です。

プラント機器



圧力容器

すべては高品質の製品をお届けするために。

プラント用機器の製造においては、厚さ300mmまでの鋼板を成形加工できる1万トンプレス、大型機器を一体完成品で熱処理できる焼鈍炉などの大型設備を有しています。これまでの豊富な製造実績により高度な製造技術を確認しており、十分な品質管理のもと、大型圧力容器および熱交換器を製造し、世界各国に納入しています。

Technology / Products

- 圧力容器
- 原子燃料サイクル関連設備
- ボイラ



● 圧力容器
バナジウムを添加したクロム・モリブデン鋼を素材とした板巻リアクター製造技術を確認している数少ないメーカーであり、高品質の製品を提供しています。



● 原子燃料サイクル関連設備
米国のエンジニアリング会社をグループに加え、使用済み核燃料の輸送や貯蔵に供する容器のコンサルティングから設計・製造・輸送に関わる一体型ソリューションをグローバルに提供しています。



● ボイラ
コージェネレーション設備やコンバインド発電設備を構成する重要な機器である排熱回収ボイラの納入実績を多数有しています。

半導体・ FPD 関連機器

技術力と提案力で 最適な製品をお届けしたい。

スマートフォンや液晶テレビ、有機EL、太陽光パネルなど、幅広い分野の製造プロセスで当社の製品が採用されています。実験装置から生産ラインの構築に至るまで、ご要望に応じた製品をご提案します。

真空装置

食品・医薬 関連機器

「環境にやさしい」と 「食の安全」の 両立を実現させる。

カナデビアグループは、食品をはじめ、化粧品、医薬品などの充填包装システムに多くの実績があります。安心・安全をモットーとし、効率的な生産性を重視したシステムを提案しています。

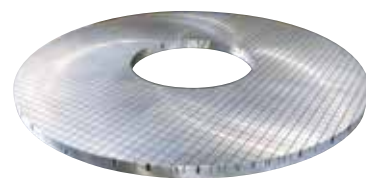
充填包装ラインシステム

Technology / Products

- 研磨装置
- ラッピングプレート
- 高品質フィルム・シート向け製造装置
- 真空バルブ
- 真空装置
- 研磨技術



● 研磨装置
ガラス基板の大型化に合わせて大型研磨装置や特殊な研磨装置に特化して設計・製造しています。



● ラッピングプレート
鍛造技術をベースに発展したマテリアル事業は、各種先端材料の研磨を行うラッピングプレートを中心に、精密機械分野への積極的な展開を図っています。



● 高品質フィルム・シート向け製造装置
独自開発の金属弾性ロールや超精密歯車減速機により、光学用部材・半導体製造工程用部材などの安定生産が実現できます。



● 真空装置
FPD、半導体および太陽電池関連分野において、研究開発用から量産用までの各種真空装置を設計・製造しています。



● 真空バルブ
半導体、FPD、有機ELなどの装置メーカー様向けに多数の納入実績があり、ご要望に応じて最適な駆動方式をご提案しています。



● 研磨技術
「電解複合研磨」や次世代の精密研磨技術「Juno Process」を駆使し、ナノレベルの平滑性と高い均質性、耐食性、防汚性をご提供します。

FPD：フラットパネルディスプレイの略

Technology / Products

- 充填包装ラインシステム
- 食品用異物選別装置
- 画像および映像処理・蓄積システム「食レコ®」



● 充填包装ラインシステム
容器導入から充填包装まで。これまで培ってきた豊富な実績と技術力で、充填機をはじめとし、洗浄、包装、搬送なども含め、トータルで生産システムをご提供しています。



● 空間除菌機
ACSTERIA(アクステリア)
空気中に浮遊するウイルスを99.9%除菌する業務用空間除菌機です。床面積機内に250㎡まで対応可能。ファンで吸い込んだ空気に深紫外線LEDを直接照射し、空気中の微生物やウイルスを除菌します。



● 食品用異物選別装置
機械式と画像式の2タイプを有し、30年以上にわたって食品に含まれる異物選別の装置製造に携わっています。納入先は400社以上、1,500台以上の実績があります。



● 画像および映像処理・蓄積システム
「食レコ®」
食品工場専用のデジタルレコーダーです。「CCTVカメラ」や「製品全数記録用カメラ」を使って検証ポイントの映像を漏れなく、賞味期限以上の期間記録することができます。

電子制御 機器

自由自在なものでづくりで ニーズに応えたい。

長年培ってきた豊富な経験を生かし、産業機械、設備、プラント、生産設備、産業インフラ向けの制御機器などの開発からアフターサービスまで一括してサポートします。
プリント基板や電子回路から高精度で高い安定性を誇るシステムまで構築し、プラント全体に関わる制御に幅広く対応できます。



電子部品自動実装機

Technology / Products

- 各種制御システム
- 高精度GNSS利用システム
- 加速器制御システム
- 電子ボード製品



鉄道車両搭載用カメラシステム

●各種制御システム

ボードコンピュータ、パソコン、PLCなど高機能ユニットを制御盤に組み込み、高精度で安定したシステムを構築します。

自社製品の画像録画装置(DVR)の技術を用いて、列車運行の前方映像を記録する装置です。



●加速器制御システム SPring-8/SACLA 提供:理化学研究所
大強度陽子加速器施設「J-PARC」、大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー(XFEL)施設「SACLA」などのシステムを構築しています。



電子基準点(国土地理院)



●高精度GNSS利用システム

物流、交通、製造の各シーンにおいて、高精度GNSSをはじめ、RFID、レーザー、ジャイロ、マッチングマップなどの各種センシング複合技術により、シームレスな移動体管理ソリューションをご提供します。



●電子ボード製品

ライフサイクル延命を可能にするレガシーボード対応を30年以上の実績と経験で支えます。自社製プロセッサ搭載リファレンスボードをベースとしたカスタマイズ対応が可能です。

電気分解技術 メタネーション 燃料電池



PtG SQUARE

先端技術によるCO₂削減で 環境保全に貢献したい。

当社は、1974年当時の通商産業省工業技術院によるサンシャイン計画から今日まで将来の水素社会を見据えて水素発生装置の開発に取り組んでいます。また、再生可能エネルギー由来の水素とCO₂を反応させてメタンを生成するメタネーションの研究開発も継続的に行っており、化石燃料の使用量削減に実効的なカーボンニュートラルの対策を推進しています。

- 水素発生装置
- 燃料電池
- 電解装置
- メタネーション装置

Technology / Products



●電解装置

海水または塩水を直接電気分解して、次亜塩素酸ナトリウムを生成する装置。生成した次亜塩素酸ナトリウムは、発電所および石油化学工場、プラントなどで海洋生物の付着防止、上下水道の滅菌用として使用されています。



●メタネーション装置

再生可能エネルギー由来の水素とCO₂を反応させてメタンを生成する技術です。



●業務・産業用固体酸化物形 燃料電池(SOFC)発電装置

燃料の持つ化学エネルギーを直接電気に変換する発電装置。従来の熱機関と比較して、高発電効率、騒音・振動が小さく、燃料多様性を持つことから定置用発電装置として期待されています。



●水素発生装置

水を電気分解して高純度の水素ガスを発生供給するオンサイト型の装置です。再生可能エネルギー由来などのCO₂を排出しない電気と水素の組み合わせによるクリーンエネルギーの活用(Power to Gas)が目されています。



海底設置型フラップゲート式稼働防波堤

カナデビアの技術で 防災・減災を 実現したい。

私たちカナデビアグループは幅広く社会インフラ整備に取り組み、高度な技術で持続可能な防災・減災社会を実現し、暮らしの安心を明日へとつないでいきます。

- 橋梁
- 鋼製煙突
- 水門
- シールド掘進機
- フラップゲート式水害対策設備
- 大型海洋構造物

Technology / Products



夢舞大橋

● 橋梁

日本の長大橋梁の先駆けとなった若戸大橋をはじめ、明石海峡大橋や香港のストーンカットラーズ橋など国内外に2,500橋以上の豊富な実績があります。



● 鋼製煙突

造船、橋梁、水門および海洋構造物で培われた設計・製作・架設技術をもとに、昭和30年代以降、国内外合計200本以上の鋼製煙突建設の実績を有し、社会基盤整備に貢献しています。



ラオス ナムグム水門

● 水門

水門・水圧鉄管メーカーとして100年を超える歴史があり、ダムや河川に設けられる大型・中型ゲートを国内外に多数納入しています。



浮体式仮締切設備(鶴田ダム)

ダム再開発事業で活躍し、ダムを運用しながらの施工が可能です。



陸上設置型フラップゲート式
可動防潮堤 neo RiSe®

● フラップゲート式 水害対策設備

津波や高潮、洪水にともなう浸水時の浮力によって自動的に立ち上がるフラップゲート式水害対策設備を開発しました(上)。海底設置型は、板状の扉体を港口部の海底に沈めておくもので、浮力と津波・高潮時の水圧を利用して立ち上がります(左)。



● シールド掘進機*

米国シアトル市向けΦ17.45m泥土圧シールド掘進機
米国シアトルの大規模な地下自動車道路工事、トルコボスボラス海峡横断トンネルや、インドの地下鉄など、自社の技術を結集し、独自に製作したシールド掘進機は世界を舞台に活躍しています。



● 大型海洋構造物

沈埋函、浮体構造物、鋼製ジャケッ、鋼板セルなどの豊富な建造実績を有しています。

海底トンネルの本体となる鋼とコンクリートの構造物です。大阪港咲洲トンネル、神戸港島トンネルなど40函以上の実績があります。

沈埋函

*2021年10月1日付で、川崎重工業株式会社との共同新設分割により新設された地中空間開発株式会社が、当社および川崎重工のトンネル掘削機事業(シールド掘進機、TBM(トンネルボーリングマシン)および土木機械等、およびそれらの部品の設計、開発、修理ならびに販売に関する事業等。ただし製造に関する事業を除く。)を承継しました。

その他

産業用マテリアル

お客様との共同開発を進めており、今後もニーズを伺いながら幅広い展開を図っていきます。

全固体リチウムイオン電池

全固体リチウムイオン電池は、主流のリチウムイオン電池で使用されている有機電解液を固体電解質へと置き換えたもので、高い安全性や、高い耐環境性、長寿命が主な特徴です。極低温から高温にいたる広い使用可能温度範囲を保持しており、これまでリチウムイオン電池の適用が困難であった使用環境など、広い用途への展開が期待されています。



受託生産

お客様のご依頼を受け製品を生産しています。



有明工場

受注業務内容

- 大型溶接構造物の製缶
- 大型構造物の熱処理(焼鈍)
- 大型構造物のショットブラストおよび塗装
- 大型構造物の機械加工
- 精密部品の機械加工
- 各種装置の電装、配管および組立
- 500トン岸壁クレーンでの海上積み出し
- 大型溶接構造物の非破壊検査(PT、MT、UT、RT)
- 計量機器校正サービス



向島工場

受注業務内容

- 大型鉄鋼構造物製作
- クレーン部材製作



堺工場

受注業務内容

- 大型鋼構造物の製作
- 各種産業機械の製作
- 各種賃加工(製缶・ショットブラスト塗装・機械加工・組立等)
- 専用岸壁を利用した船積み・陸揚げ

Technology / R&D Bases

先端テクノロジーを活用し、 カナデビアグループ全体で連携を図る。

グループ全体の事業に関する製品や生産技術の高度化、新事業・新製品開発をスピードアップするため、事業部門およびグループ会社と密接に協力し合い、技術開発に挑戦しています。

また、事業・製品にICTを活用して高度化、付加価値化を図るとともに、IoT(Internet of Things)、ビッグデータ、AI(人工知能)などの先端テクノロジーに対する取り組み強化を目的として、拠点を設けています。

開発拠点



●開発本部 技術研究所



●精密機械センター



●制御機器センター



●環境事業本部開発センター

ICT拠点



●遠隔監視・運転支援センター

ごみ焼却発電プラントなど各種施設および装置の遠隔監視・運転支援、診断サービスを実施。



●先端技術情報センター(A.I/TEC)

- 1.IoT/ビッグデータ分析基盤を構築、事業への価値を提供。
- 2.オープンスペースを共有し、顧客やパートナーと共創・イノベーションを実現。
- 3.AOM事業の拡大、新事業・新製品の創出を加速する目的で、2018年10月より大阪本社に開設。新たなICT拠点として、AIなど先端テクノロジーを積極的に活用し、事業のデジタル革新を推進。

AOM:アフターサービス、オペレーション、メンテナンスの略



拠 点

世界に広がるカナデビアグループのネットワーク

創業年月日 1881(明治14)年 4月 1日
設立年月日 1934(昭和 9)年 5月29日

国内事業所

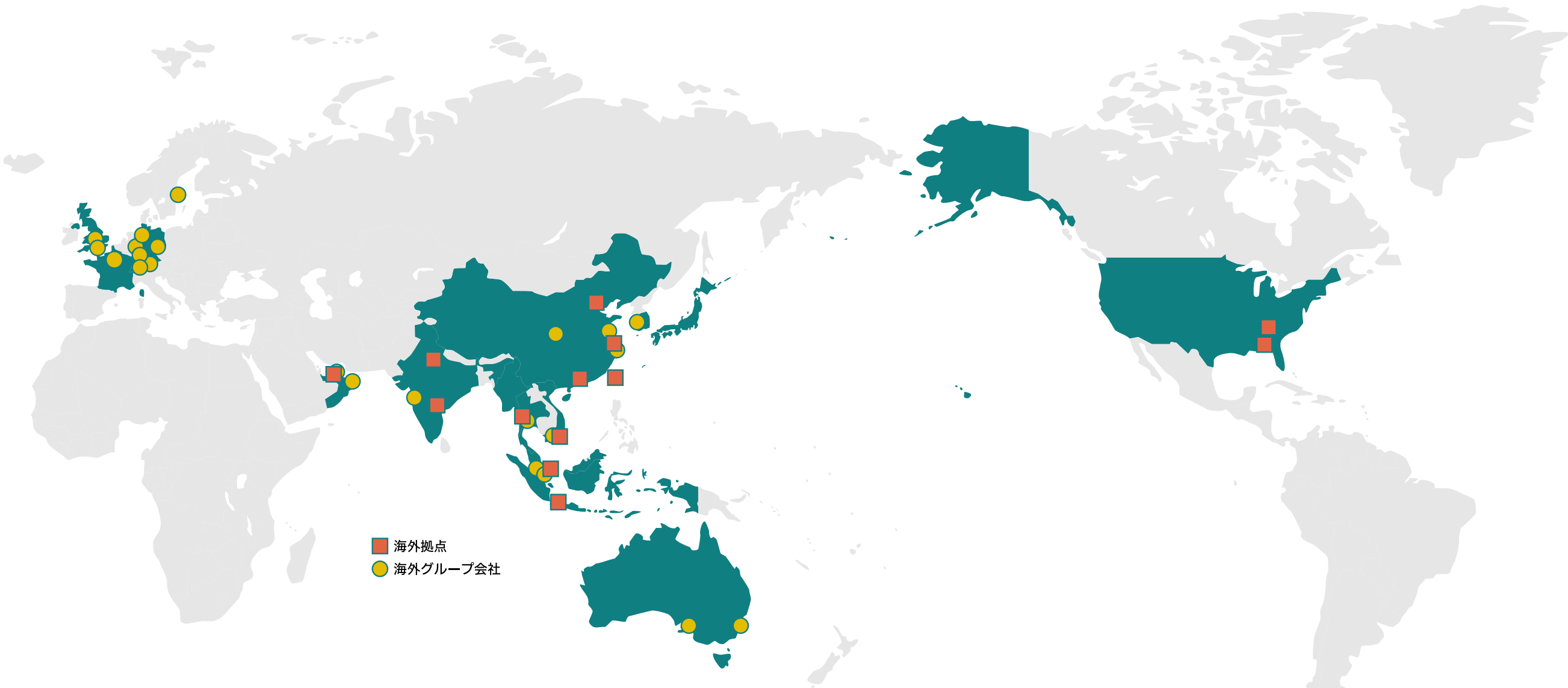
- 本社
〒559-8559
大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
tel.06-6569-0001
fax.06-6569-0002
- 東京本社
〒140-0013
東京都品川区南大井6丁目26番3号
大森ベルポートD館15階
tel.03-6404-0800
fax.03-6404-0809
- 技術研究所
- 北海道支社
- 東北支社
- 中部支社
- 中国支社
- 九州支社
- 熊本営業所
- 沖縄営業所

国内工場

- 有明工場(熊本県)
- 向島工場(広島県)
- 因島工場(広島県)
- 築港工場(大阪府)
- 堺工場(大阪府)
- 舞鶴工場(京都府)
- 茨城工場(茨城県)

海外拠点

- アブダビ支店
- 台北支店
- シンガポール支店
- Kanadevia U.S.A. Ltd.
- Kanadevia U.S.A. Ltd.
アトランタ支店
- Kanadevia India Private Limited
- Kanadevia India Private Limited
ハイデラバード支店
- Kanadevia(THAILAND)CO.,LTD.
- PT. Kanadevia INDONESIA
- 科纳维商貿(上海)有限公司
- 科纳维商貿(上海)有限公司 北京支店



■ 海外拠点
● 海外グループ会社